

主催:にいがたGIS協議会 共催:新潟大学災害復興科学センター

平成18年10月29日(日)13:00～15:00
於:朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 2階中会議室201

講演タイトル:
GISを基盤とした情報処理が危機対応に果たした役割
～2004年新潟県7.13水害・10.23中越地震を事例として～

ICT*が危機対応に果たすことのできる役割は何なのか。2004年新潟県に甚大な被害をもたらした2つの災害における対応の教訓から、地理情報システムGISを基盤とした、効果的な災害対応のための情報処理のあり方について検討する。

*ICT(Information and Communication Technology)の略。ITに変わることばとして総務省が2004年から用いている



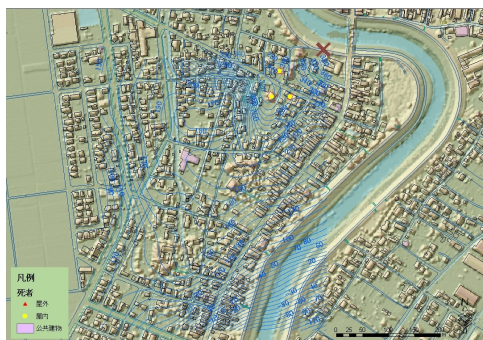
林 春男 専門:防災心理学、危機管理

京都大学 防災研究所巨大災害研究センター長・教授
新潟大学 災害復興科学センター・客員教授

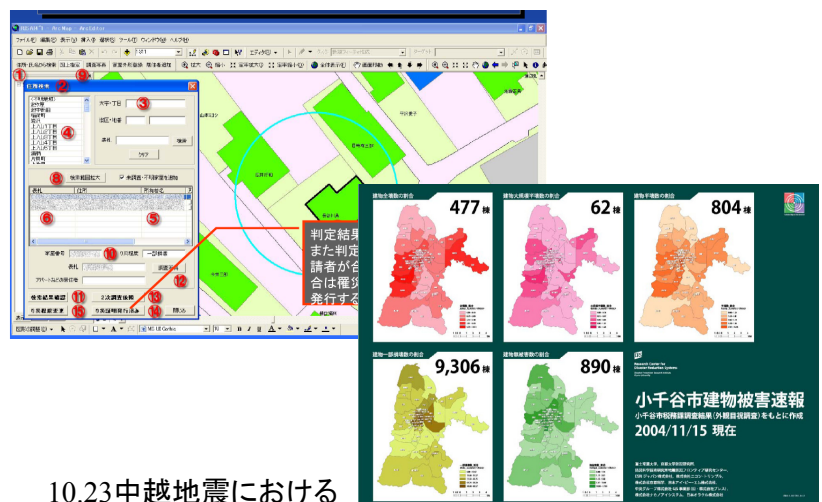
<講師紹介>

カリフォルニア大学ロスアンゼルス校で博士号(Ph. D.)を取得後、弘前大学、広島大学を経て、1994年京都大学防災研究所・助教授、1996年より同教授。2005年より京大防災研・巨大災害研究センター長。平成18年度防災功労者防災大臣表彰。

GISを用いた危機管理システムの基盤構築に関する研究多数。特に「京都市防災マップ・英語版デザイン」は、2005年7月、ESRI User Conferenceにおいて‘出版物:地図シリーズ・アトラス部門最優秀賞’及び‘総合最優秀賞’を獲得。世界90カ国以上から約13,000人もの参加者が集う大会での受賞は快挙。



7.13水害における
死者発生原因の分析



10.23中越地震における
り災証明発行支援システムの開発

講演タイトル:

GISを基盤とした情報処理が危機対応に果たした役割

～2004年新潟県7.13水害・10.23中越地震を事例として～

セミナー 参加申込書 にいがたGIS協議会

事務局宛

TEL 025 (282) 2600

FAX 025 (285) 6699

出席は無料ですが、参加には申し込みが必要です。
空席状況につきましては、裏面のお問合せ先、またはホームページなどでご確認下さい。

<http://www.niigatagis.com>にある申し込みフォームをご利用になるか、こちらにご記入の上、faxで左記までお申し込み下さい。

参加者氏名	所属 ・ 役職

団 体 名	
電 話 番 号	
申込完了メール 返信先アドレス	



ICTでつながる安心 ひろがる未来
**地域ICT未来フェスタ
2006 inにいがた**

2004年10月23日17時56分に発生した新潟県中越地震。
最大震度7を観測したこの震災で、
ICTの果たした役割とは何だったのか。
安心できる未来のために、ICTができることは何か？

にいがた
GIS
協議会

Research Center for
NATURAL
HAZARDS
&
DISASTER
RECOVERY
Niigata University